

第3回特別委員会会議録

日時 場所	平成27年11月24(火)17:00～18:15 三州倶楽部会議室
出席者	本田会長、上野座長、小森座長代理、伊藤委員、大江委員、川人委員、神田委員 塩田委員、畠山委員、浜岡委員、牧之内委員、松元委員、三宅委員 久保監事、新徳監事 事務局宮本 (欠席委員)飯山委員、蘭牟田委員、岩崎委員、内田委員、田中委員、中吉委員、吉留委員
議題	三州倶楽部の「理念」の検討について
配付資料	三州倶楽部の「理念」について(たたき台)
理念の たたき台	浜岡委員より、「理念」のたたき台を説明。 〈第一案〉平成9年、21世紀を迎える時に策定した「理念」ベース 『我が三州倶楽部は、とうとうとしてやまぬ黎明の意気を感じ、たゆまない研鑽を目指すべく 集い同郷の誇りを持ったものが交流・理解を深め、併せて、郷土の進歩発展と国家社会の 進運に寄与する。』 〈第二案〉国際化を内容とする「理念」ベース 『郷土への想いと誇りを海外の三州出身者とも共有し、激動する国際化に対応できる若者の 育成を図り、併せて、郷土の進歩発展とグローバル社会の平和と安定に寄与する。』
各委員の 意見	○グローバル化の議論が進まないと、〈第2案〉の「理念」に国際化はうたえない。 当倶楽部がグローバル化へ向けてやることを具体化して、関係者の意見を聞いたら 如何か。 ○前に策定した「理念」はグローバル化の意味合いもある。それは倶楽部創立のときの 「理念」と同じで再確認したものと理解している。 ○会員増強が課題であり、集って交流・理解を深めることは理念にうたわれる必要がある。 ○特別委員会各ワーキンググループ(以下WG)の検討結果を、〈第1案〉の『…併せて、…』以下 の部分に記載することを検討したい。
	(次回特別委員会開催) WGの検討状況報告(来年3月～5月)
結論	第一案を検討の素案とすることとし、しばらく棚上げして各WGの検討を見守ることとする。 各WGの作業が進んだところで、その成果を見て「併せて」以下の部分に修正を加える こととする。